

CONTENTS

目次

はじめに:Vol.0 発刊にあたって	7
① 古典的比較解剖学の現在地:異種の身体構造を知るとは? 郡司芽久	9
② 「にんげんの壊れるとき」と微積分:人間の病理性と創造性の狭間を問う 鈴木咲衣/豊原響子/柳澤友里亜	21
③ 単純化しすぎた世界:科学のプロフェッショナリズムがもたらす期待と脅威 高橋良和/塩尻かおり/駒井章治/中村征樹/半場祐子	33
④ 「形」と「かたち」:私の漆芸に根ざす不易流行のこと 笹井史恵	45
⑤ 航空機産業、国際債務、サイバーデモクラシー:「3G」からみる世界史 坂出健	57
⑥ 戦うことば:消滅危機言語保存の研究と実践 山田真寛/横山晶子	69
⑦ 暮らしのモンタージュ:フィールド研究の余白 澤崎賢一	81
⑧ ロボティック・サイエンス論:科学における再現性と一回性 國吉康夫	93
おわりに:創刊の背景とねらい	106
創刊号への投稿募集	108
『といたうとい』投稿規定	108
編集委員一覧	110

創刊号への投稿募集

2022年度発行号への投稿希望者は、以下の投稿規定を確認のうえ、下記のWEBサイトからご応募ください。記念すべきVol.1への応募を編集部一同お待ちしております。



『といとうとい』投稿規定

対話型学術誌『といとうとい』（以下、本誌という）への投稿に関する事項は、以下の規定の定めるところによる。本誌は、査読・編集を経たのち、その目的に沿った投稿原稿を受け付ける。(2021年6月30日制定)

・資格

広く「研究者」とする。学位、所属や年齢、現役いかんは問わない。

・言語

日本語、または英語とする。

・対象

どのような学術分野でも応募可（なお、いわゆる典型的な学際研究である必要はなし）。

・掲載基準

どのような分野、どのような方法、どのような営みであれ、あなた（たち）が考える本質とは何で、その本質をおさえようと考え尽くした深さがいかほどのものか。

・掲載料

無料。

・掲載までのプロセス

投稿は、以下の流れで本誌掲載に至る。

投稿者が WEB サイト内の申し込みフォームより、コンセプトペーパー(以下、CP)*を提出。

↓

投稿者および編集委員は、投稿内容に応じて1名程度の識者を選定。合計8名程度の編集委員がそのCPにコメントを行なう(可能な限り対話の場ももつ)。

↓

そのコメントは投稿者へと伝達され、投稿者はCPを変更し再提出するか、投稿取りやめかを選択する。

↓

編集委員会は、再提出されたCPを元に議論し、「CPの再提出」か「論考の作成への移行」かを投稿者に伝達する。

↓

論考の作成が承認されたのち、投稿者は論考を提出する。必要に応じて、再度、編集委員らが意見交換して投稿者とのやり取りを行い修正を経たのち、投稿者ならびに編集委員らの最終確認を経て掲載される。

※コンセプトペーパー：論考の概要と執筆の背景をまとめたA4で1～2枚の資料。詳細は、前ページのWEBサイトにて。

・初出

原稿は刊行時において未発表の原著でなければならないが、自己が過去に他の論文誌や学会、展示会などにおいて発表した内容である場合(またはそれを元にしてる場合)、その旨を明記すれば受け付ける。なお、当然ながら他者の記事の一部または全部の剽窃とみなされる原稿は受け付けない。

・著作権

投稿原稿の著作権は著者に属する。ただし原則としてCreative Commons(CC BY-NC-ND 4.0)ライセンスを適用するものとする。投稿者は、投稿原稿に第三者の著作物が含まれる場合、適法引用であるか、あるいは本条の利用について権利者の許諾が得られていることを保証する。事務局は、上記ライセンスの適用いかんにかかわらず、投稿原稿を印刷または電子的に利用する権利をもつものとし、その際は著者に報告する。

・不正への対処

研究論文・事例報告発行後に二重投稿、剽窃、倫理規定違反、利益相反などの不正行為の疑いが生じた場合は、文部科学省が定めた「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」その他を参考とし、編集委員会で対処する。

編集委員一覧

ケヴヘイッシュウィリ・ルースダン（京都大学 経済学研究科附属プロジェクトセンター 講師）

1990年生まれ、ジョージア共和国出身。博士（経済学）。研究分野ファイナンス工学（信用リスク、派生証券、応用確率論）。文部科学省国費留学生として日本へ留学。京都大学経済学部卒業後、京都大学経済学研究科修士課程・博士課程（日本学術振興会特別研究員DC2）を修了。博士課程修了後現職。

重田真義（京都大学大学院 アジア・アフリカ地域研究研究科 教授）

1956年生まれ。生態人類学、民族植物学、アフリカ在来農学。博士（農学）。1978年以來、スーダン、ケニア、エチオピアなどアフリカ各国で地域社会の生業と開発に関連した研究にあたる。共編著に『睡眠文化を学ぶ人のために』（世界思想社、2008）、『アフリカ農業の諸問題』（京都大学学術出版会、1998）、“Tree against Hunger”（American Association For The Advancement of Science,1998）など。

野原佳代子（東京工業大学 環境・社会理工学院 教授）

翻訳学・コミュニケーション論・言語学。オックスフォード大学にて修士号（歴史学）、博士号（翻訳学）取得。同大学講師、学習院大学助手、ルーヴェンカトリック大学研究員等。東工大 WRHI サテライトラボ STADHI 主宰、科学技術 x アート学際研究を牽引。日本工学教育協会工学教育賞（論文・論説部門）等受賞。『ディスカッションから学ぶ翻訳学』（三省堂、2014）など、著書多数。

東原紘道（東京大学 地震研究所 名誉教授）

1970年、東京大学大学院工学研究科土木工学専攻博士課程修了。専門は、構造工学・耐震工学、都市工学・交通工学。防災科研（NIED）地震防災フロンティア研究センター長（2004～2011）。原子力発電環境整備機構（NUMO）評議員（2011～）等、公的な設計や計画の審査経験多数。土木学会フェロー会員。博士（工学）。

藤田結子 (明治大学 商学部 教授)

コロンビア大学で M.A. (Sociology)、ロンドン大学で Ph.D. (Media and Communications)。2009 年マス・コミュニケーション学会賞受賞、2016 年より現職。主な著書に“Cultural Migrants from Japan” (Lexington Books, 2009) など。

松浦健二 (京都大学大学院 農学研究科 教授)

1974 年生まれ。進化生態学、社会生物学。博士 (農学)。京都大学農学部農林生物学科卒業後、同大学院修了。ハーバード大学博士研究員、岡山大学准教授などを経て 2012 年より現職。2008 年文部科学大臣表彰若手科学者賞、2011 年日本学術振興会賞、日本学士院学術奨励賞。著書に『シロアリ』 (岩波書店, 2013) など。

古谷紳太郎 (東京工業大学 リベラルアーツ研究教育院 特別研究員)

1979 年生まれ。専門の科学史・科学哲学を中心に、リベラルアーツ、イノベーション論、科学技術行政。国際基督教大学卒業、同大学院比較文化研究科修了、東京工業大学大学院社会理工学研究科修了。博士 (学術)。2019 年日本科学史学会賞受賞。研究・教育と並行し、アカデミズムの社会実装を目指して起業。COMMONZ LLC の CEO としての顔ももつ。

宮野公樹 (京都大学 学際融合教育研究推進センター 准教授)

1973 年生まれ。学問論、大学論 (元々は金属結晶学、ナノテク)。博士 (工学)。立命館大学卒業後、マクマスター大学、立命館大学、九州大学を経て 2011 年より現職。国際高等研究所客員研究員も兼任する他、京大総長学事補佐、文部科学省学術調査官の業務経験も。日本イノベーション学会理事。2008 年日本金属学会若手論文賞、他多数。近著は『問いの立て方』 (筑摩書房, 2021)。

(敬称略・五十音順)



といたうとい 第0号 | Toi Tou Toi Vol.0

2021年6月30日

発行：

京都大学 学際融合教育研究推進センター
京都市左京区吉田本町 総合研究2号館3F
<http://www.cpier.kyoto-u.ac.jp/>

販売：

株式会社ユニオン・エー
京都市左京区北白川西平井町 22-2
<https://union-a.co.jp/>

アートワーク：

伊丹豪

アートディレクション・デザイン：
谷戸正樹 (MYDO LLC)

編集：

矢代真也 (SYYS LLC)

校閲：

株式会社鷗来堂

印刷・製本：

株式会社誠晃印刷

本誌は京都大学卒業生による総長支援団体「鼎会」の
支援のもと、制作・発行されたものである。

Printed in Japan ISBN978-4-908679-09-4
©2021 京都大学 学際融合教育研究推進センター／
Center for the Promotion of Interdisciplinary Education and
Research, Kyoto University